
年次報告 2017



目次

- 活動に対する思い
- ご挨拶
- 私たちが目指す社会
- 事業報告

痴漢抑止バッジデザインコンテスト2017

啓発・啓蒙活動

痴漢抑止バッジ販売

- 会計報告
- 活動を広げるために

100年続く電車内痴漢犯罪から子どもを守るのは、
私たち、大人の責任です

ご挨拶

2017年6月、刑法の性犯罪規定が厳罰化され、110年ぶりに改正されました。2015年に痴漢抑止バッジプロジェクトを立ち上げた時と比べ、性犯罪に対する社会の認識が大きく変化したのを感じた1年です。

以前は、痴漢に関する話題がニュースに取り上げられると、ネット上には「冤罪が～～」といった男性寄りの意見が多数投稿されました。しかし今では痴漢被害よりも痴漢冤罪を重大視し、被害者を傷つけるような発言は少数派になりつつあります。

これは、憲法改正だけでなく国内外にさまざまな事件がおきたことが影響していると考えられます。

3月に痴漢を疑われた男性が線路上を走って逃げる様子がニュースで流れ、夏までに同様の事件が多数取り上げられました。これまで性犯罪は加害者と当事者の問題と考えていた人も、痴漢により通勤時間帯のダイヤが乱れているのに改めて気づいたのでしょう。



8月には、依存症治療に携わっている齊藤章佳氏(精神保健福祉士・社会福祉士)が痴漢加害者の歪んだ心理と思考をわかりやすく解説した「男が痴漢になる理由」が出版されました。従来、痴漢加害者と被害者に向けられてきた、間違ったイメージを払拭するきっかけとなっています。

また秋以降、ハリウッドの大物プロデューサーによるセクハラ疑惑が報じられ、次々と被害者が声を上げはじめ、「#MeToo(私も)」は世界的なムーブメントとして広がりました。日本ではMeTooの声が上がらないと言われていますが、声高に「Me Too」を言わず自分の体験を語り出す人は増えています。

そうした背景もあり国連ウィメンは2018年度に行政や企業を巻き込んだMeToo推進を宣言しています。その中で、私たちもこれまで以上に真摯に活動を続けてまいります。

今後も、ご支援とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

一般社団法人痴漢抑止活動センター 代表理事 松永弥生

私たちが目指す社会

活動概要図

子どもを性犯罪から守る社会を、産官学民連携で実現



子どもを性犯罪から守る社会を、産官学民連携で実現

私たちは、電車内痴漢犯罪を解決するために社会の性犯罪に対する意識を変える必要があると考えています。

従来のように痴漢犯罪を「加害者と被害者の問題」と捉えたままでは、解決の道は見つかりません。被害者に声を出す勇気を求めるのではなく、「痴漢犯罪を許さない」意識を各人が持ち、学校、企業、警察、電鉄会社と一緒に社会の意識を変えていく必要があります。

そのために当会は活動の軸に「痴漢抑止バッジデザインコンテスト」を設けています。

2017年1月、コンテスト情報サイト「登竜門」を運営する株式会社 JDN様開催の「コンテストで解決したいことコンテスト」で当会がグランプリを受賞いたしました。

「痴漢抑止バッジデザインコンテスト2017」は、JDNの全面サポートを受けて実施。それだけではなく、JDNの親会社である株式会社 丹青社様のご紹介で、電鉄会社や電鉄系商社、日本民営鉄道協会へ活動のプレゼンをする機会をいただきました。当会だけではアポイントメントをとることも難しい企業です。

コンテストも多数メディアにとりあげていただき、応募数は前年度79作品から1338作品へと激増。全国42都道府県とニューヨーク、ソウルからも参加がありました。

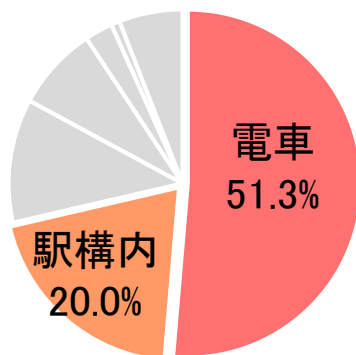
参加者からは、痴漢抑止活動に対するメッセージもいただいています。バッジデザインを検討する中で、痴漢犯罪について調べ憤りを感じたという声が男女ともにあがっています。

審査に中高校生、一般の方々にご参加いただき、オープンな場で痴漢犯罪の問題点について語る文化を育て、犯罪抑止・防犯に繋げてゆきます。

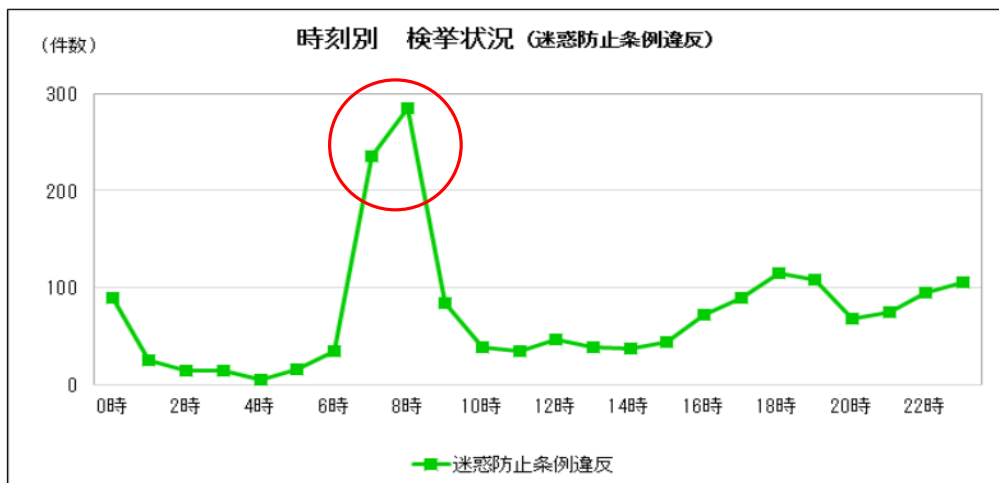
■参考資料:痴漢(迷惑防止条例)

下記のグラフから、登下校の時間帯に駅構内・電車内において、10～20代の女性が、痴漢被害にあっていることがわかります。グラフの数字を見ると、20代が一番多く被害にあっていると思うかもしれませんが、**1人で電車に乗るのは、高校に入学以降が大半です**。10代と20代では、母数が違うことに留意が必要です。

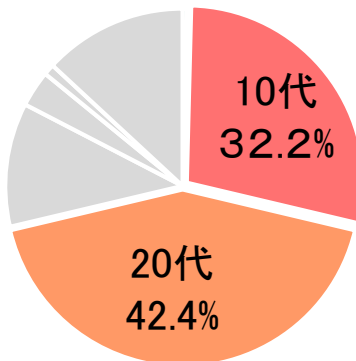
痴漢(迷惑防止条例)発生場所



痴漢(迷惑防止条例)発生時刻



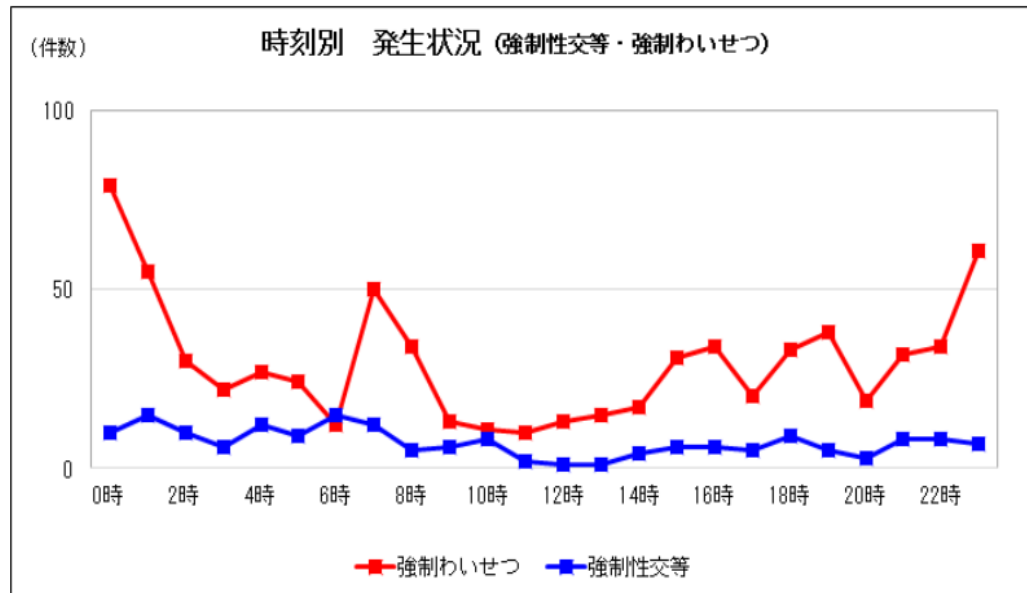
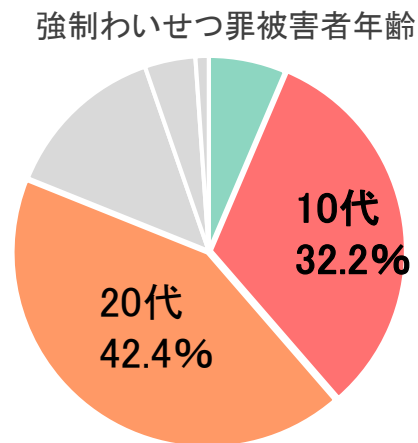
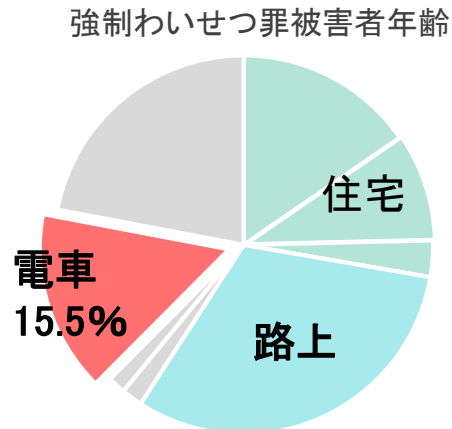
痴漢(迷惑防止条例)被害者年齢



出典: 警視庁「こんな時間、場所が狙われる」(2018年3月7日)より
<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/kurashi/higai/koramu2/koramu8.html>

■参考資料:強制わいせつ罪

スカートや下着の中に触れたりする場合、強制わいせつ罪が適用されます。住宅、路上に次いで、電車で強制わいせつ罪が発生している点に注目してください。



出典:警視庁「こんな時間、場所が狙われる」(2018年3月7日)より
<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/kurashi/higai/koramu2/koramu8.html>

1) 学生のデザイン

被害者に受け入れられるツール作成

2) 流通の力

「痴漢抑止バッジ」の普及

3) 教育の力

社会の意識を変える

事業報告

痴漢抑止バッジ デザインコンテスト2017

学生対象・受賞作品は製品化!

痴漢抑止バッジ
デザインコンテスト2017
作品募集!

《募集期間》
2017.8.1(火) → 9.20(水) 24:00

最優秀賞 5万円
受賞作品は
製品化

痴漢抑止バッジデザインコンテスト2017

学生対象のデザインコンテスト

全国42都道府県の237校から1,338作品の応募

募集期間: 2017年8月1日～9月20日

最優秀賞(賞金5万円)

東京工科大学 デザイン学部

藤井 花さん

女性が好むスイート、キュートな配色にし、女子高生がつけやすくしました。犯罪を取り締まる象徴として手錠を描き、加害者を監視したり、やましい心を見透かすように、眼鏡をかけているような表現で抑止効果を狙いました。痴漢抑止活動センターのマークをリボンに見立てています。「なぜ痴漢するの?」という言葉を入れたのは、痴漢は一種の依存症だという記事を読み、「痴漢はダメだ」と言うより効果的だと思ったからです。

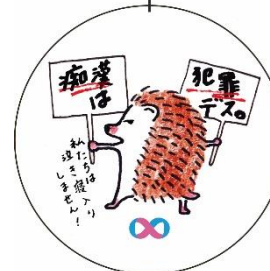


優秀賞(賞金2万円): 札幌大谷大学 芸術学部 美術学科 メディア表現領域 光永美良乃さん ●○○○

優秀賞(賞金2万円): HAL名古屋 グラフィックデザイン学科 松山紋子さん ○●○○

審査員特別賞「キタミコト賞」(賞金1万円): 秋田公立美術大学 美術学部 美術学科 キタザワさん ○○●○

審査員特別賞「たか子賞」(賞金1万円): 愛知県立芸術大学 美術学部 デザイン・工芸科 マミオさん ○○○●



コンテストの告知・広報

記者会見

2017/08/01



ポスター



大阪市営地下鉄 御堂筋線 なんば駅



南海電鉄 アンスリー



予備審査 各地の大学生などの投票をもとに60作品選出



応募総数1,338作品から各地の大学生などに投票していただきました。

投票結果を参照し、審査委員会が60作品を選出いたしました。

篠原未来	福岡女子大学国際文理学部国際教養学科
飯野絵美	九州大学
三角聡子	九州大学
高野千春	東京
溝井萌子	東京
山本朱音	上智大学
相川結	[代表]リコルヌ企画所属
高辻真帆	リコルヌ企画所属
りな	リコルヌ企画所属
くーちゃん	リコルヌ企画所属
まなてい	リコルヌ企画所属

1次審査 中学生・高校生のアンケートで12作品選出



大阪市立南港南中学校

女子中高校生、男子中高校生に予備審査結果の60作品の中から、好きな作品に投票していただきました。

投票は、1人5ポイントを持ち、1位:3pt、2位:2pt、3位:1ptを入れる形式をとりました。

投票結果を参照し、審査委員会が12作品を選出いたしました。



浦和麗明高等学校

大阪市立南港南中学校	126名
浦和麗明高等学校	10名
芦屋学園中学・高等学校	10名～20名
松蔭女子学院 松蔭中学校・高等学校	16名
大阪女学院	16名
女子美術大学付属高等学校・中学校	14名
兵庫県立三木高校	女子19名 男子3名
大阪府立春日丘高等学校	

2次審査 近鉄百貨店 あべのハルカス 5階 縁活ウォールギャラリー



開催日:2017年11月8日～16日
会 場:近鉄百貨店 あべのハルカス
縁活ウォールギャラリー

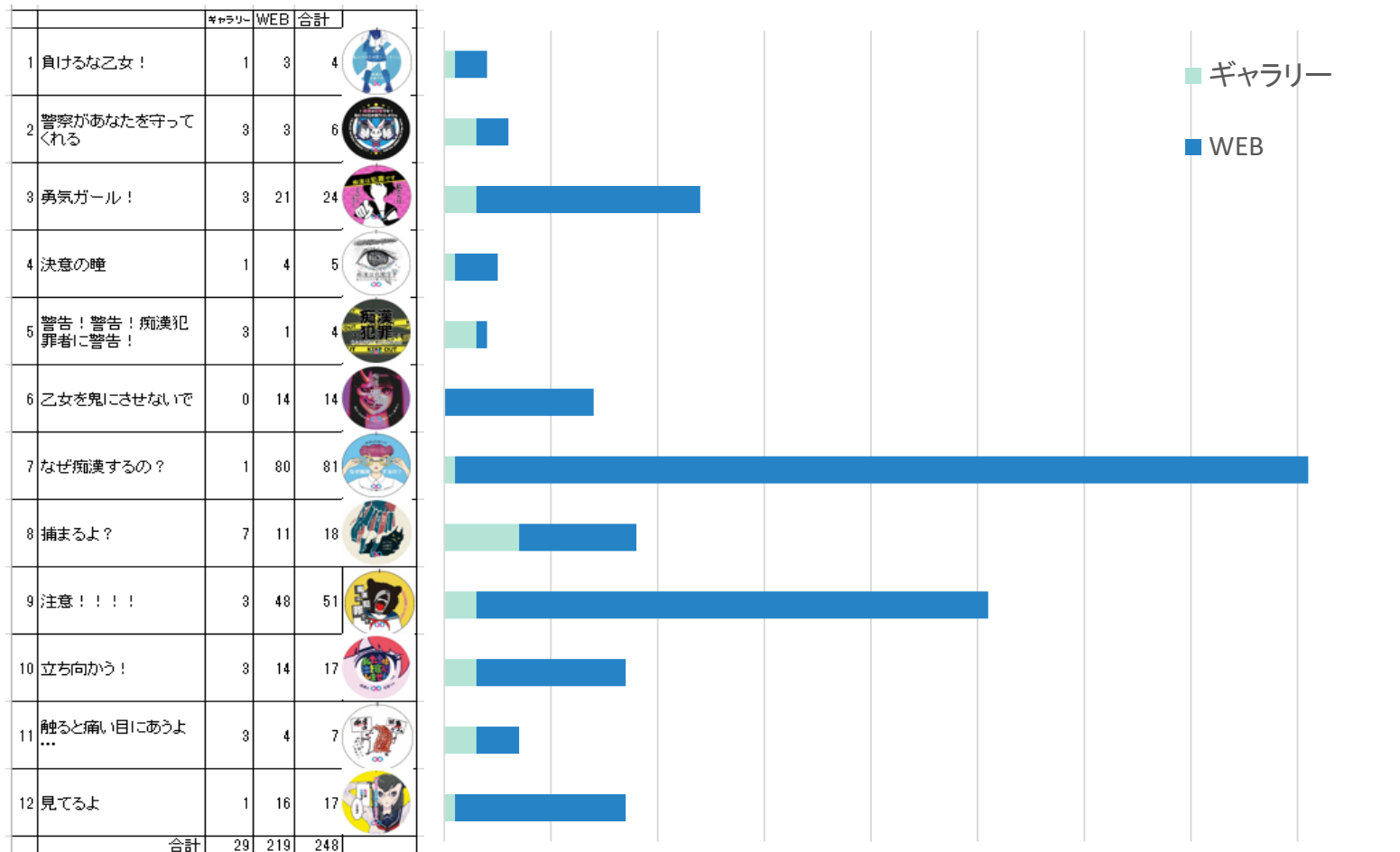
少女たちが痴漢被害にあっている現実を知っていただくために、多くの方が買い物を楽しむ百貨店内にあるウォールギャラリーで、2次審査を実施いたしました。

会場にポストを設置し、バッジを選んで投票していただきました。

投票結果

ギャラリーとWEBで同時に人気投票を実施しました。

合計で248票の投票がありました。



「痴漢抑止バッジデザインコンテスト2017」 受賞式



2017年12月3日(日)東京ミッドタウンデザインハブ内

インターナショナル・デザイン・リエゾンセンターにて実施

審査委員長のキタイミコト氏より、未来のデザイナー達に作品講評とグッズデザインのアドバイスが贈られた。

啓発・啓蒙活動

オオサカンEXPO

2017年1月29日 オオサカンEXPOに出店



大阪府よろず支援拠点

2017年2月13日

販路拡大のアドバイスをいただいている「よろず支援拠点」の事例紹介に選ばれました。



中小企業・小規模事業者のための無料経営相談所

大阪府
よろず
支援拠点

お客さん
増やしたい

上手な
PRをしたい

資金繰り
が厳しい

創業したい

店舗を
改善したい

ホーム 相談のお申込みはこちら コーディネーター紹介 ご利用者の声 事例紹介 セミナー情報（無料） 出張相談 地図・アクセス

メールマガジン登録 お問い合わせ

一般社団法人痴漢抑止活動センター

「私は泣き寝入りしない」の意思表示で痴漢を未然に防ぐバッジの開発販売



事業の現状と相談のきっかけ

- 活動継続のために、ボランティアではなく事業として取り組みを希望。事業経験がないため経営サポートを得るために相談に訪れた。
- 商品の企画、製造、販売、営業経験が全くない。ビジネスとして、完全にゼロからのスタートだった。
- 特に販路開拓知識は皆無。営業に関して苦手意識が強い。
- 会社形態についても決めかねており、相談を希望。

ヒアリングによる課題の整理

- クラウドファンディングとクラウドソーシングを活用し、製品（缶バッジ）はできた。
- 多数のメディアに取り上げられ、見込み需要も利便。ターゲットも絞り込めている。
- しかし、販路開拓に向けての根本的な方法が分からない。

大阪府よろず支援拠点

Google カスタム検索 Search

サポコネ Support Connect
支援策をさがそう

メールマガジン
大阪よろず通信

大阪市中央区本町橋 2-5
マイドームおおさか7階
(公財)大阪産業振興機構内

TEL: 06-6947-4375
FAX: 06-6947-5007

email: yorozu@mydome.jp

営業日: 平日9:30~17:30

大阪府よろず支援拠点は、(公財)大阪産業振興機構が運営しています。

公益財団法人
大阪産業振興機構



性犯罪に関する勉強会「キミの声が、聞きたくて。」

2017年7月30日 東京都新宿区 セッションハウス

日米刑事手続制度の違いの観点から「よくわからないけど怖い冤罪」神話を解き明かし、被害者が声をあげにくい日本社会で意思を伝える方法を考えるタウンミーティング形式の勉強会にゲストスピーカーとして参加しました。



第10回ソーシャルビジネスプランコンペ

2017年10月28日 CSOアワード2017 第10回ソーシャルビジネスプランコンペ

大阪市モデル事業サポート賞を受賞しました

平成29年度モデル事業サポート 対象者が決定しました！

ソーシャルビジネスのプランをお持ちの方に継続的な伴走型のサポートを提供するモデル事業サポート。

この度、以下の選考方法によりサポート対象者2事業者が決定しました！

事業者の想いを丁寧に汲み取りながら、事業化の仕組みを作り上げる万全なサポートをしています。

【選考方法】

- ①大阪NPOセンターが実施する「ソーシャルビジネスプランコンペ」より選定
- ②大阪市コミュニティビジネス等促進事業の講座メニューを実施した方より選定

【サポート対象者】

選考方法①より

一般社団法人痴漢抑止活動センター

選考方法②より

大阪で働く親に役立つ地域情報サイトLycka (リッカ)

が選ばれました。



鉄道会社訪問

痴漢抑止バッジの普及に鉄道会社・電鉄会社系商社の協力を得るため、各社を訪問し当会の活動理念や目的のプレゼンを行いました。

2017年3月28日	株式会社エキ・リテール・サービス阪急阪神
2017年4月21日	大阪市営地下鉄 難波駅
2017年4月21日	株式会社京阪ザ・ストア
2017年4月27日	株式会社セブン-イレブン・ジャパン
2017年4月28日	小田急商事株式会社
2017年4月26日	東急株式会社東急ステーションリテールサービス
2017年5月22日	東京地下鉄株式会社
2017年6月19日	小田急電鉄株式会社
2017年6月28日	日本民営鉄道協会



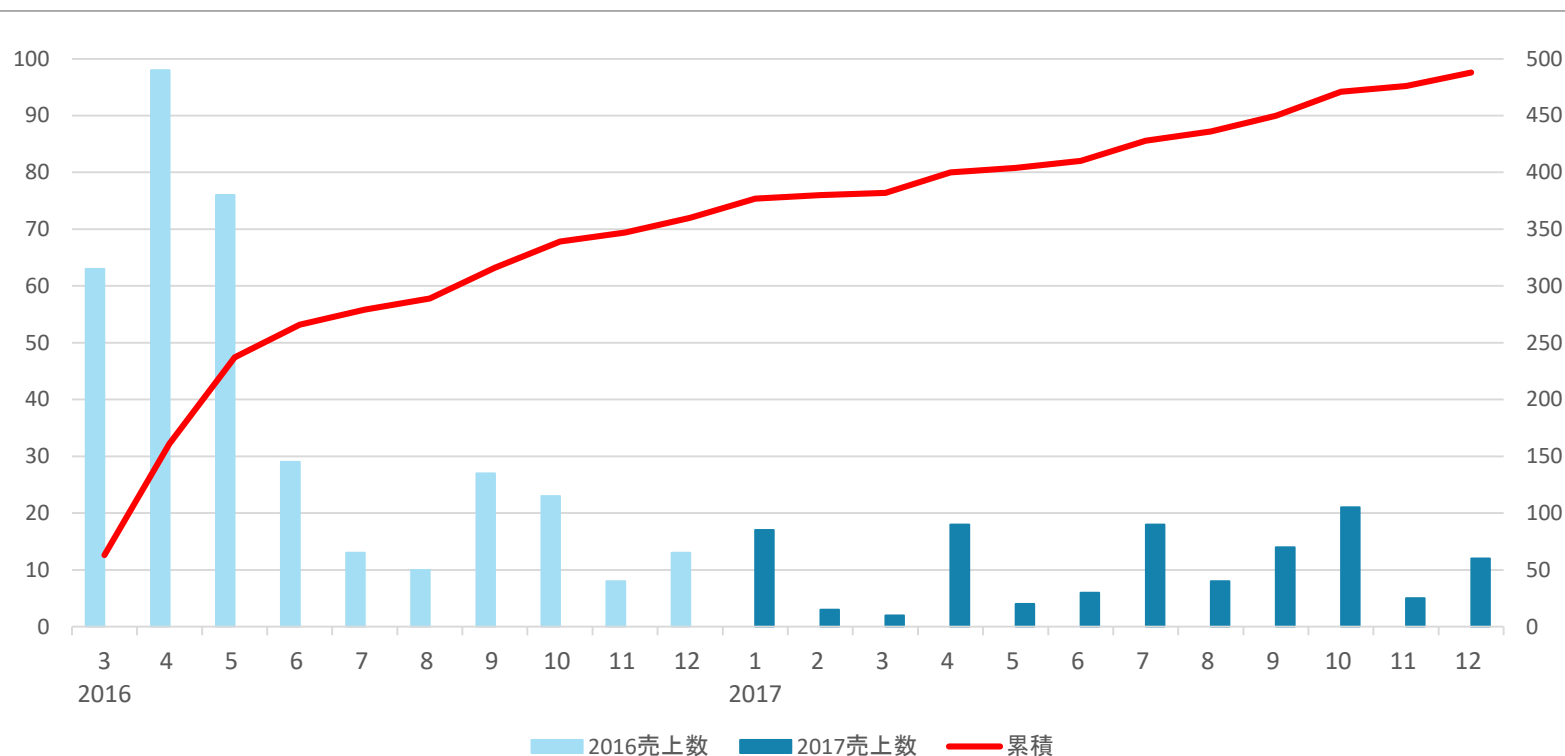
大阪市営地下鉄 御堂筋線 なんば駅

メディア掲載リスト

掲載日	タイトル	掲載紙
2017.03.08	Sexual assault in Japan: 'Every girl was a victim'	アルジャジーラ
2017.05.13	日本の女子高生はほとんどみんな痴漢の被害者だ！ 中東メディアが深掘りしたその実態と原因とは？	クーリエ・ジャポン
2017.06.19	痴漢許さぬ バッジで意思 女子高生らデザイン 大阪の団体、公募図案を商品化	日本経済新聞
2017.06.19	痴漢許さぬバッジで意思 女子高生らデザイン	日本経済新聞
2017.06.25	3,000円で「痴漢撲滅ムーブメント」を支援する	Forbes Japan
2017.07.25	痴漢被害と痴漢冤罪に悩むすべての男女に、対応策の最新情報【詳細版】	
2017.07.28	男も女も痴漢にうんざり！ 6割超が被害経験も「やめて」言えた人は1割 怒り噴出「実名公表を」 疑われたら男性はどう対処？	産経新聞
2017.07.31	痴漢抑止バッジ、新デザインを学生コンテストで募集「10年後の社会を変えたい」	ハフィントンポスト
2017.08.24	痴漢させない このバッジで	読売新聞
2017.09.21	車内痴漢にNO！ 心の叫びバッジに	東京新聞
2017.10.03	痴漢抑止バッジ、その効果と秘められた思いとは！？	J-WAVE STEP ONE
2017.10.03	電車内の痴漢にNO	中日新聞
2017.10.19	電車で女性にキス 無罪になったブラジル人	朝日新聞
2017.11.02	性犯罪許さない 取り組みや実態紹介	大阪日日新聞
2017.11.15	痴漢防ぐバッジ12点 商品化へデザイン投票	大阪日日新聞
2017.12.07	NEWS その後 新デザイン5点決定	東京新聞

痴漢抑止バッジ販売

2016年～2017年 痴漢抑止バッジ ネット販売数



2016年3月25日よりネット通販を開始しました。

メディアに取り上げられた直後に購入数が増えるため、一概には言えませんが、痴漢犯罪が増える時期と購入者数は連動していると考えられます。

今後も、データを取っていきます。

販路拡大



イオン 関西10店舗

イオン野田阪神店
イオン堺北花田
イオンスタイル堺鉄砲町
イオン大阪ドームシティ
イオン枚方店
イオンスタイル伊丹
イオン大日
イオンスタイル茨木
イオン南千里店
イオン喜連瓜破駅前店



その他の店舗

南海電鉄 アンスリー 20店舗



小田急電鉄 アズール



相模鉄道 相鉄ストアー

会計報告

損益計算書

売上高	バッチ販売	988,739	1,132,739
	講演会売上	30,000	
	協賛金収入	114,000	
売上原価	期首棚卸高	17,993	154,568
	商品仕入高	348,275	
	期末棚卸高	211,700	
【売上総利益】			978,171
販売管理費	旅費交通費	447,049	2,931,928
	広告宣伝費	737,879	
	役員報酬	756,000	
	法定福利費	162,102	
	教育訓練費	48,470	
	事務用消耗品費	9,563	
	通信費	142,557	
	租税公課	9,200	
	接待交際費	89,592	
	備品・消耗品費	152,942	
	管理諸費	310,740	
	会議費	20,598	
	雑費	45,236	
【営業損益】			-1,953,757
営業外収益	受取利息	18	7,402
	雑収入	7,384	
営業外費用	支払利息		22,135
【営業外損益】			-14,733
【経常損益】			-1,968,490
法人税等	法人税及び住民税		70,002
【当期純利益】			-2,038,492

2017年7月に日本政策金融公庫より400万円の融資を受け、活動を継続している。

収入は、痴漢抑止バッジのネット販売、南海電鉄、小田急電鉄、相模鉄道のコンビニエンスストア、イオン、その他への販売と大阪市男女共同参画センターでの講演料とコンテストなどへの協賛金である。

今後、バッジの販路を拡大するとともに、協賛金を積極的に獲得していく必要がある。

支出は、痴漢抑止バッジデザインコンテスト開催費は、コンテストポータルサイト「登竜門」を運営する株式会社JDNの協力により抑えることができ、参加者も大きく増加したが財務への大きな負担である。しかし、コンテストを継続することで活動の柱が明確となり、今後の目標や当団体のミッションを明示している。また、2017年6月より役員2名に月額5万円の報酬を支払うこととした。

次期(2018年度)に向けては、単年度収支を黒字化することを第一の目標とする。また、事務所の開設、スタッフ人件費の確保も必要となる。

痴漢抑止バッジは駅ナカ・駅チカ店舗での販売が適した商品である。引き続き販路拡大に努め普及に力を注ぐ。

痴漢抑止バッジデザインコンテストは10年間の継続を目指し、協賛企業を募りつつ、参加者の拡大を目指す。

また運営管理費を補うため、パートナー企業や個人の方々からの寄付を募るシステムを整えていく所存である。

プロジェクト 連絡先

【団体名】 一般社団法人痴漢抑止活動センター

【HP】 <http://scbjpn.org/>

【facebook】 <https://www.facebook.com/scbproject/>

【Twitter】 https://twitter.com/scb_info

【Blog】 <http://scbjpn.org/>

【e-mail】 info_scb@scbjpn.org

【バッジ考案】 殿岡万里（保護者）

【プロジェクト代表者】 松永弥生

住所：〒541-0051 大阪府中央区備後町3-6-2 大雅ビル10F-242

電話：06-7898-7808

